

## 安全にお使いいただくために

このマニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。修理受付窓口への連絡方法は、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
--	-------------------------------------

- 障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を接地（アース）することを示しています。

## 警告

 **電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。** 取り扱いを誤ると、火災の原因となります。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
- 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。
- コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。

電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。

 **電源コードのたこ足配線はしないでください。** 発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流100V）に接続してください。

 **本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。** また、本機の電源コードは、他の製品に使用しないでください。感電・火災の原因となります。

 **破損した電源コード、ケーブルを使用しないでください。** 感電・火災の原因となります。電源コードやケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードやケーブルを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードやケーブルの上に重い物を載せない。
- 発熱器具の近くに配線しない。
- 電源コードやケーブルを束ねた状態で使用しない。

電源コードやケーブルが破損したら、修理受付窓口までご連絡ください。

 **本機は、次のような異常状態のまま使用しないでください。** 感電・火災のおそれがあります。

- 異臭や異音がしたり、発煙したりしている。
  - 触れないほど熱い。
  - 割れや変形があるなど、破損している。
- 万一、異常状態になった場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理受付窓口までご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

 **通風孔など開口部から、本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。** 感電・火災の原因となります。

 **水のかかる場所で使用したり、本機の上に水などの入った容器を置いたりしないでください。** 水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。万一、本機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。それから修理受付窓口までご連絡ください。

 **光ディスクドライブ搭載の場合、光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアを使用しないでください。** 飛び散って、けがをすることがあります。

 **本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。** けが・感電・火災の原因となります。

 **装置の増設・交換などで本機のカバーを開けるときは、電源プラグをコンセントから抜き、10分以上放置してください。** 電源プラグを接続したまま作業すると、感電や火傷の原因となります。

 **アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。** また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

 **航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか、無線機能（無線LAN・Bluetoothなど）の電波を停止してください。** 電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。

 **医療機関の屋内で無線機能（無線LAN・Bluetoothなど）を使用するときは、次のことを守ってください。**

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
- 病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
- 病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
- 本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。

**!** 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線機能（無線 LAN・Bluetooth など）を使用するときは、装着部と本機の間を 22cm 以上離してください。電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。

**⊘** 無線機能（無線 LAN・Bluetooth など）は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

**⚡** 電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。接地しないで使用すると、感電の危険があります。アースは必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

**⊘** アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。火災の原因となります。

**⊘** アース端子は、コンセントに挿入または接触させないでください。感電・火災の危険があります。

## **!** 注意

**⊘** 製品を開梱したり移動するときは 1 人で行わないでください。必ず 2 人以上で行ってください。けがの原因となります。

**⊘** 小さなお子様の手の届く所に設置、保管しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

**⊘** 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

**⊘** 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。感電・火災の原因となります。

**⊘** 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。設置する際は、次の点を守ってください。

- 押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
- じゅうたんや布団の上などに設置しない。
- 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

**⊘** 交流 100V 以外の電源は、使用しないでください。交流 100V 以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

**⊘** 各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしてしないでください。配線を誤ると、火災の原因となります。

**⊘** ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

**⊘** 雷が鳴りだしたら、電源プラグを触らないでください。感電の原因となります。

**⊘** 装置の増設・交換は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷のおそれがあります。本機の電源を切って 10 分以上待ち、内部が十分冷めてから作業を行ってください。

**⊘** オプティカルマウスの場合、マウス底面にある光学式センサーの光を直接見つめないでください。また、レーザーマウスの場合は、マウス底面から目に見えないレーザーが出ています。マウス底面は見つめないでください。視覚障害の原因となります。

**⊘** 光ディスクドライブ搭載の場合、本機にはレーザーの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザー装置として分類され、その安全基準を満たした光ディスクドライブが搭載されています。

しかしながら、ドライブを分解すると、クラス 1 を超えるレーザーがドライブ外部に出力されることがあります。

ドライブを分解したり、動作中にドライブ内部をのぞきこまないでください。レーザー被爆による失明や皮膚などの障害の原因となります。

**⊘** 光ディスクドライブ搭載の場合、光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れ、挟まれないようにしてください。けがをするおそれがあります。

**!** ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小にしてから接続し、接続後に音量を調節してください。ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。

**⊘** 長時間または不自然な姿勢でのコンピュータ操作は避けてください。肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。

**⊘** 小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。

万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

**!** 本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。コード（ケーブル）などが破損し、火災・感電の原因となります。また、コード（ケーブル）などが引っかかり、けがの原因となります。

**⚡** 連休や旅行などで本機を長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。